

2021.4.30

山口県子ども読書支援センター（山口県立山口図書館）発行
TEL083-924-2111 FAX083-932-2817 <http://library.pref.yamaguchi.lg.jp>

★メールマガジン「本はともだち～山口県子ども読書支援センターニュース」配信中！

メールマガジン「本はともだち」は、新刊紹介や県内の行事など、より充実した内容で配信中です。読者登録の方法は県立図書館のホームページをご覧ください。

【山口県子ども読書支援センター行事】

★「幼児のためのおはなし会」（毎月第一火曜日）

○日時：令和3年5月11日（火）11：00～11：20 ○会場：山口県立山口図書館 第2研修室 ○対象：幼児

《4月のおはなし会で使った本》

『へんしんトイレ』（大型絵本） あきやまだし/作・絵 金の星社 2020

『ぐるんぱのようちえん』（大型絵本）西内ミナミ/さく 福音館書店 1999

『かばくん』（大型絵本）かがくいひろし/さく ブロンズ新社 2010

『りんごくんのうちはどこ？』（紙芝居）とよたかずひこ/脚本・絵 童心社 2018

◎申込み、連絡先：山口県子ども読書支援センター（電話：083-924-2111 FAX：083-932-2817 Eメール：a50401@pref.yamaguchi.lg.jp）

【新刊紹介】 価格は消費税抜き

＜絵本—乳幼児から＞

『ひぽん』 内田麟太郎/作・絵 鈴木出版 2021.2 ¥1200

「ひぽん」と現れた黄色い卵のような形。中には黒い点。何だろう？「ぴ ひぽん」あ、もう1つでてきた！目玉？「た」と茶色いおにぎりみたいなのがあらわれた。鼻？「の～」と口みたいなの赤い波線が現れて…。不思議な言葉とリズムにのっているような形が現れてくるよ。みんなにはどんな形に見える？声に出しながら読むとより一層楽しい、言葉とリズムと形を楽しむ赤ちゃん絵本。

＜絵本—3, 4歳から＞

『でんしゃのつくりかた』 溝口イタル/え 交通新聞社 2021.2 ¥1300

電車って何からできているの？あんなに大きな電車をどうやって組み立てるの？そんな疑問に答え、新潟市にある鉄道車両製造工場に潜入。電車が作られていく工程が丁寧に描かれる。巻末には「もっと知りたい電車工場のこと」が掲載され、より電車工場に関する知識を深めることができる。電車と鉄道にまつわる謎を、絵と文章でわかりやすく紹介するシリーズの最新刊。

『オサム』 谷川俊太郎/文 あべ弘士/絵 童話屋 2021.3 ¥1800

「オサムはいい人だ」「オサムが近所の子の相談にのっている」「オサムが寝る前に二人の子どもに絵本を読んでいる」「誰もがいい人だというが、オサムは自分がいい人だとは思っていない」谷川俊太郎の詩『ぼくのゆめ』にでてくる「いいひと」。いいひととはどんな人なのか、ゴリラのオサムを通して、私たちに問いかける。あべ弘士の描くオサムのたたずまいが味わい深い。

＜絵本—5, 6歳から＞

『バルバルさん きょうはこどもデー』 乾栄里子/文 西村敏雄/絵 福音館書店 2021.3 ¥900

今日はバルバルさんの床屋の『こどもデー』。お客さんは子どもたち。早速男の子がやってきて、ロバのこどもとチョコチョコキ。次にやってきたのは5ひきのそっくりな羊の子どもたち。バルバルさんは見分けがつくようにそれぞれ違うヘアスタイルに。子羊たちは大喜び。次に、木の枝につかまってもじゃもじゃのかたまりが声をかけてきて…。愉快な床屋バルバルさんのシリーズ第2弾。

＜絵本—小学校低学年から＞

『ぐん太』 夢枕真/文 飯野和好/絵 小学館 2021.3 ¥1500

昔から誰も持ち上げることができない夜泣き石。ぐん太の御先祖様も持ち上げようとしたが、力尽きて石の下敷きになった。ぐん太は、毎日けいこをして村一番の力持ちになったが、石は持ち上がらない。ある時死んだ父さまが夢に出てきて…。真の強さとは？優しさとは？作者が心の中で30年間ずっと育ててきた物語。圧倒的な迫力の絵が心を揺さぶる、大人にも読んでほしい絵本。

『かえるのごほうび 絵巻「鳥獣人物戯画」より』 木島始/さく 梶山俊夫/レイアウト 福音館書店 2021.3 ¥1400

今からおおよそ800年から900年前くらいに描かれた国宝『鳥獣人物戯画』。全く詞書がつけられておらず、謎が多い鳥獣戯画絵巻に、物語をつけて組み立てなおした絵本。おなじみのウサギやカエルやサルが、弓矢で的をねらったり、相撲をとったり。そこへ事件が起きて…。動物たちが生き生きと動き出し、みる者を絵巻の世界へ誘う。『鳥獣人物戯画』の魅力を再発見する絵本。

＜読み物—小学校低学年から＞

『葉っぱのこって』 濱野京子/作 しろさめ/絵 金の星社 2021.3 ¥1200

3人の妖精、青い帽子に青い服のアサギ、茶色の帽子と服のクルミ、赤い帽子と服のサンゴは、葉っぱに乗って人間の子もたちと遊ぶことが大好き。一緒に追いかけてこをしたり、くるくる踊ったり。でもうまく気づいてもらえず寂しい思いをすることも。風がやんでも、地面に落ちてこない葉っぱには、妖精たちが隠れているのかもしれないよ。挿絵がたっぷりの幼年童話。

＜読み物—小学校中学年から＞

『ぼくのあいぼうはカモノハシ』 ミヒャエル・エンゲラー/作 はたさわゆうこ/訳 杉原知子/絵 徳間書店 2020.8 ¥1400

ルフスは、ドイツで姉と母親と暮らす男の子。父親はオーストラリアに単身赴任中。ある日、動物園から逃げ出した、人間の言葉を話すカモノハシのシドニーに、故郷のオーストラリアに連れて帰ってくれるよう頼まれる。父親にも会いたいルフスは、シドニーと一緒にどうにかしてオーストラリアに行こうとするが…。第67回青少年読書感想文全国コンクール小学校中学年課題図書。

『ゆりの木荘の子どもたち』 富安陽子/作 佐竹美保/絵 講談社 2020.4 ¥1300

4人のおばあさんと2人のおじいさんが生活する「有料老人ホーム・ゆりの木荘」は、100年以上前に建てられた洋館を改築したもの。残っている当時の物は玄関の古時計だけ。この時計が猛スピードで逆回りした途端、時を昭和16年8月3日に、老人たちはみな子どもに。これはこの家の座敷童の仕業だと分かったが…。第67回青少年読書感想文全国コンクール小学校中学年課題図書。

＜読み物—小学校高学年から＞

『サンドイッチクラブ』 長江優子/作 岩波書店 2020.6 ¥1500

なんとなく流れて中学受験する桃沢珠子と、将来アメリカ大統領になる夢を実現させるために受験する羽村ヒカル。二人は互いをタマゴ、ハムちゃんと呼び合い、サンドイッチクラブを結成。受験勉強の合間に公園の砂場の砂を使って像を作るサンドアートに熱中する日々。お互いを理解し尊重しているはずの二人だったが…。第67回青少年読書感想文全国コンクール小学校高学年課題図書。

＜読み物—中学生から＞

『妖怪コンビニで、バイトはじめました。』 令丈ヒロ子/著 あすなろ書房 2021.2 ¥1400

イズミは中学生。生まれつきの異能力を隠しながらも、父親との二人暮らしを満喫しているが、父が再婚相手を持ってきたことで、家庭生活が一変。ひとりになりたくて出かけたイズミは、たまたま見つけた「人外」専門のコンビニで、幽霊の店長に見込まれ、アルバイトをすることに。コメディイではあるが、登場人物と一緒に「生きること」について考えさせられる物語。

『アーニヤは、きっと来る』 マイケル・モーパーゴ/著 佐藤見果夢/訳 評論社 2020.3 ¥1400

12歳のジョーは、羊飼いの戦地に行き帰ってこない父の代わりに、毎日羊の世話をしている。ある日、森の中で赤ひげの男ベンジャミンと出会い、ユダヤ人の子どもの亡命の手助けをすることに。村に駐留するドイツ兵たちの監視の目をかいくぐり、村をあげての亡命作戦は成功するのか。映画化もされたモーパーゴの作品。第67回青少年読書感想文全国コンクール中学校課題図書。

＜ノンフィクション—小学校低学年から＞

『はっきりきこえているかな?』 せべまさゆき/絵 木場由紀子/監修 WILL こども知育研究所/編著 金の星社 2021.2 ¥1300

耳が聞こえづらかったり、聞こえなかったりする難聴。その難聴をもつ子どもに、周囲の人たちはどう接してサポートすればいいか、自分が難聴だったら、どのようにみんなの力を借りたらいいかを、わかりやすく描く。「おとなも子どもも気づきにくいからだの心配がわかる絵本」シリーズ。他に『はっきりみえているかな?』『はっきりあじがわかるかな?』の全3巻。

＜ノンフィクション—小学校中学年から＞

『気をつけよう!自転車トラブル 最新のルール・罰則を知ろう』 日本交通安全教育普及協会/監修 汐文社 2021.1 ¥2500

小学生でも手軽に乗って便利な自転車。法律では「軽車両」に分類され、守るべき決まりもたくさんあるよ。2020年6月に改正された最新の道路交通法をもとに、自転車に乗る人が守るべき交通ルールから、問われる責任や罰則までを解説。実際に起こりそうな事例を漫画で分かりやすく紹介。『1 交差点で出会い頭!ぶつかった!事故でどんな責任を問われるの?』他、全3巻。

『海洋ごみ問題について知ろう』 中嶋亮太/監修 教育画劇 2021.2 ¥3500

世界中で深刻な問題となっている海のごみ「海洋プラスチック」。大量の海洋プラスチックの現状と、いつまでも消えない、小さくなくてもなくならないプラスチックの特性を、多くの写真を用いて解説。「海のごみは、みんなのごみ 海洋ごみ問題を考えよう!」シリーズ。他に『豊かな海のためにできること』『アルバウつくしいうみをまもった100歳のさかな』の全3巻。

＜ノンフィクション—小学校高学年から＞

『みんなちがってみんなステキ』 高橋うらら/著 新日本出版社 2021.1 ¥1500

やっくんは、戸籍上の性別は女性だが、自分の認識は男性のトランスジェンダー男性。中学ではスカートをはき女の子キャラを演じる毎日。しかし、高校からは、友だちや親にカミングアウトして自分らしく生きていこうとする。周囲との違いに悩むLGBTの子どもたちのために活動をしている団体ReBit(リビット)取材し、そのメンバーたちの生き立ちや思いをまとめた1冊。

＜ノンフィクション—中学生から＞

『牧野富太郎 日本植物学の父』 清水洋美/著 里見和彦/絵 汐文社 2020.7 ¥1600

「日本植物学の父」と呼ばれ、海外の研究者たちからも尊敬された牧野富太郎の伝記。土佐の富豪の跡取り息子の立場を投げ出して、日本中の植物を研究することに費やした牧野の人生を、様々なエピソードを交えて紹介。牧野の描いた植物図やポートレートも掲載。図表を用いた専門用語の解説が、読者の理解を助けてくれる。第67回青少年読書感想文全国コンクール中学校課題図書。

＜研究書＞

『科学絵本の世界100 学びをもっと楽しくする』 平凡社 2021.3 ¥2400

身の回りのことで子どもたちが抱く「なぜ?」から楽しみながら自分で考える力を引き出してくれる「科学絵本」100冊を解説つきで紹介。カラー図版が多く作品の特徴が把握しやすい。選書・解説は絵本関連の本の編集を手がけてきた南谷佳世・柴田かずえ。歴史が概観できる巻末文献「日本の科学絵本の歴史」(瀧川光治)は参考文献付き。索引あり。「別冊太陽 日本のこころ」シリーズ。

『学校司書のための学校図書館サービス論』 学校図書館問題研究会/編 樹村房 2021.2 ¥2200

文部科学省が提示する学校司書養成のモデルカリキュラムの中で唯一読み替えを認めない科目として設定された「学校図書館サービス論」のテキストとして編集された学校図書館問題研究会メンバーによる共同著作。具体的な実例が多く紹介されており、実例集としても使える。「学校図書館サービスと著作権」の章があり、学校図書館で生じがちな著作権の問題が事例とともに解説されている。

『司書教諭・学校司書のための学校図書館必携 新訂版 理論と実践』 全国学校図書館協議会/監修 悠光堂 2021.2 ¥4200

学校図書館業務の初任者のほか、校長・教頭等の学校管理職や教諭が、学校図書館の経営・運営・活用にあたり拠り所となる総合的知識及び標準的な指針を網羅した基本の手引書。今回の改訂では、新しい学習指導要領で拡大した学校図書館の任務が内容に反映され、加筆されている。「読書の幅を広げるために」の項では、図書館と出会う読書活動「ライぶらり」の事例が紹介されている。

※【新刊紹介】の本は、県立図書館で現在受入準備中の本です。そのため、県立図書館の蔵書検索(OPAC)では検索できませんが、利用することは可能です。取書のための選書の参考として、閲覧、貸出等を希望される方は、お問い合わせください。